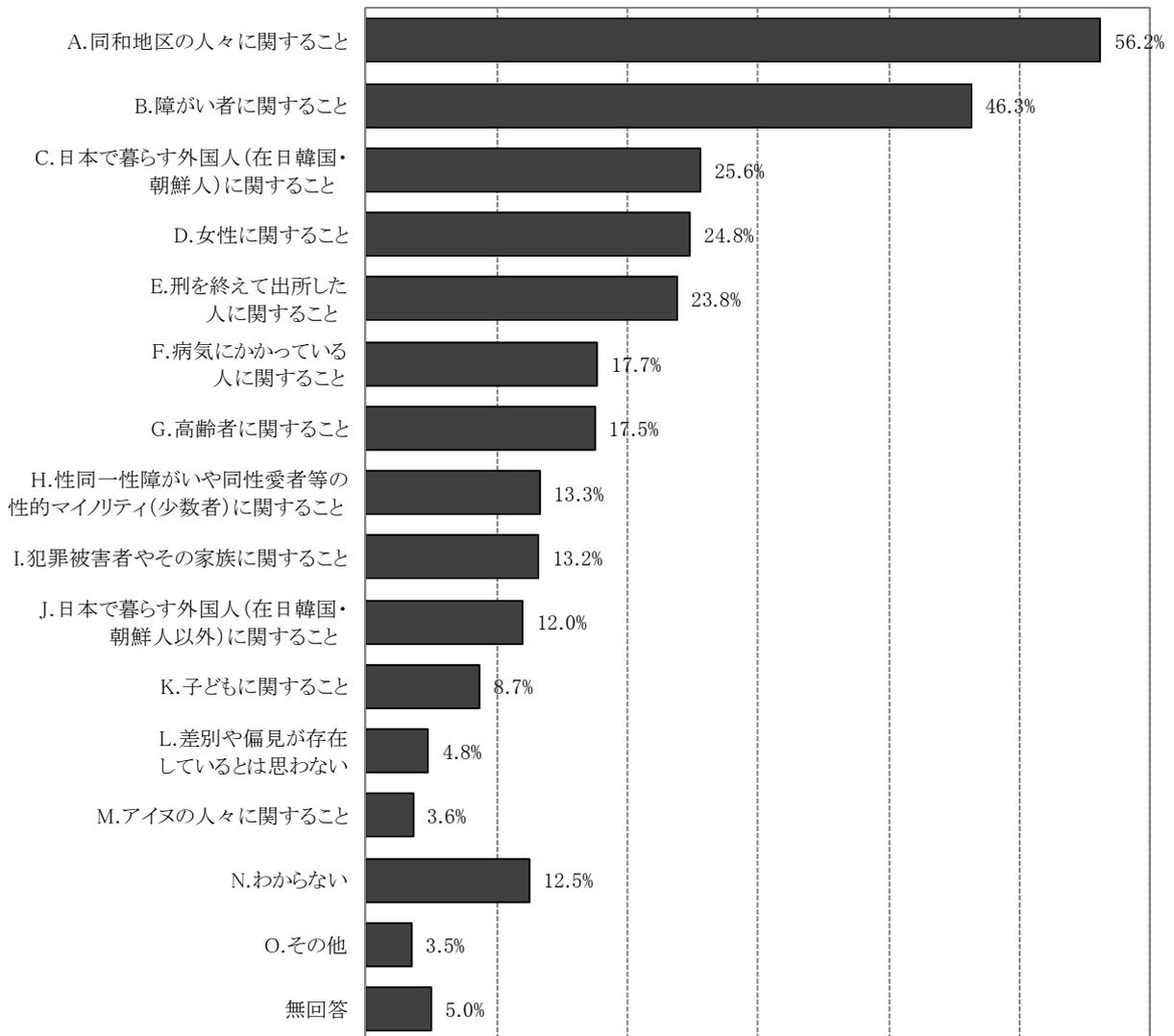


問 4（県内の人々の意識に存在していると思う差別）

鳥取県内において、人々の意識の中に差別が存在していると思うのは、次のどれだと思いますか。（はいいくつでも）

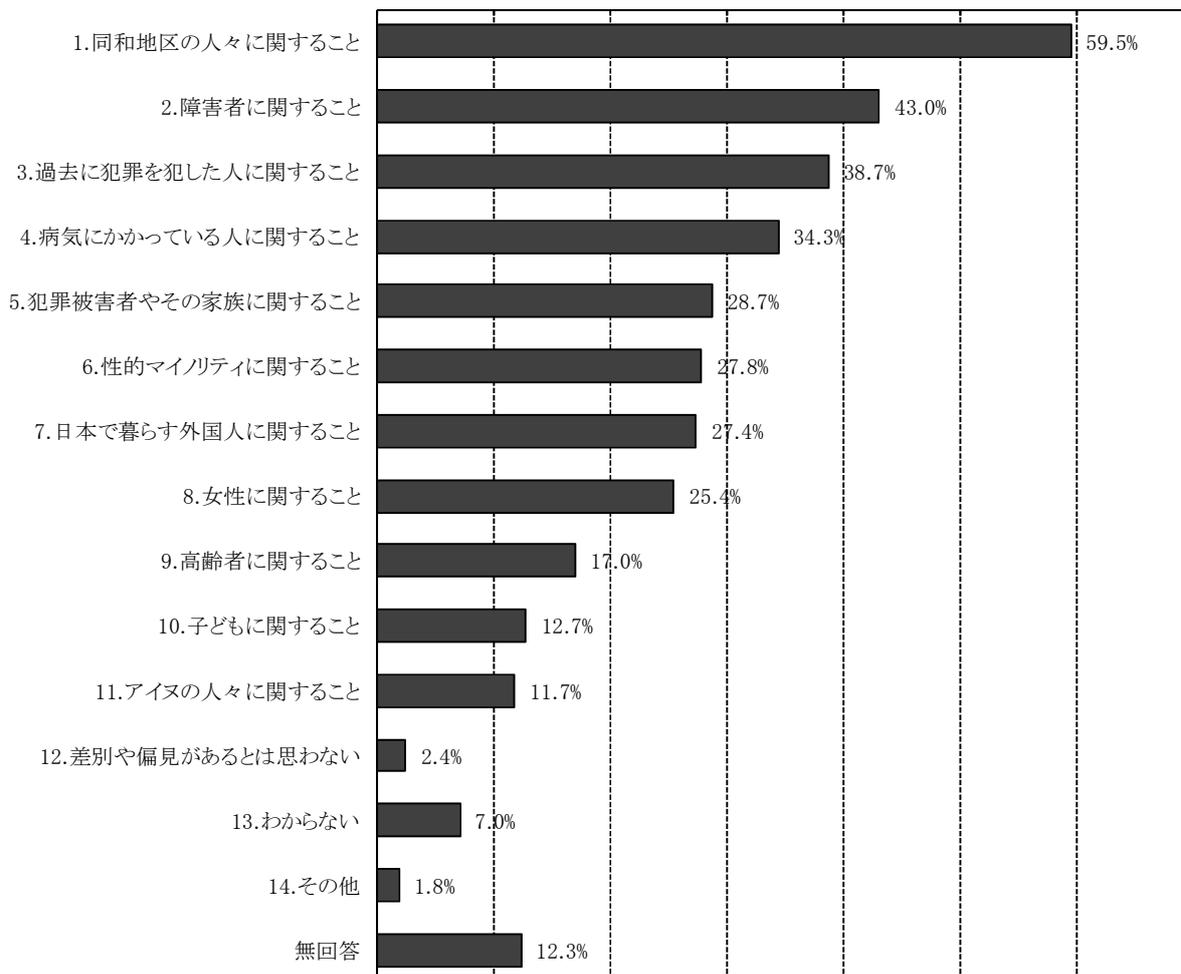


■鳥取県内の人々の意識の中に存在していると思う差別について、「A. 同和地区の人々に関すること」が56.2%と最も高く、次いで「B. 障がい者に関すること」が46.3%となっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

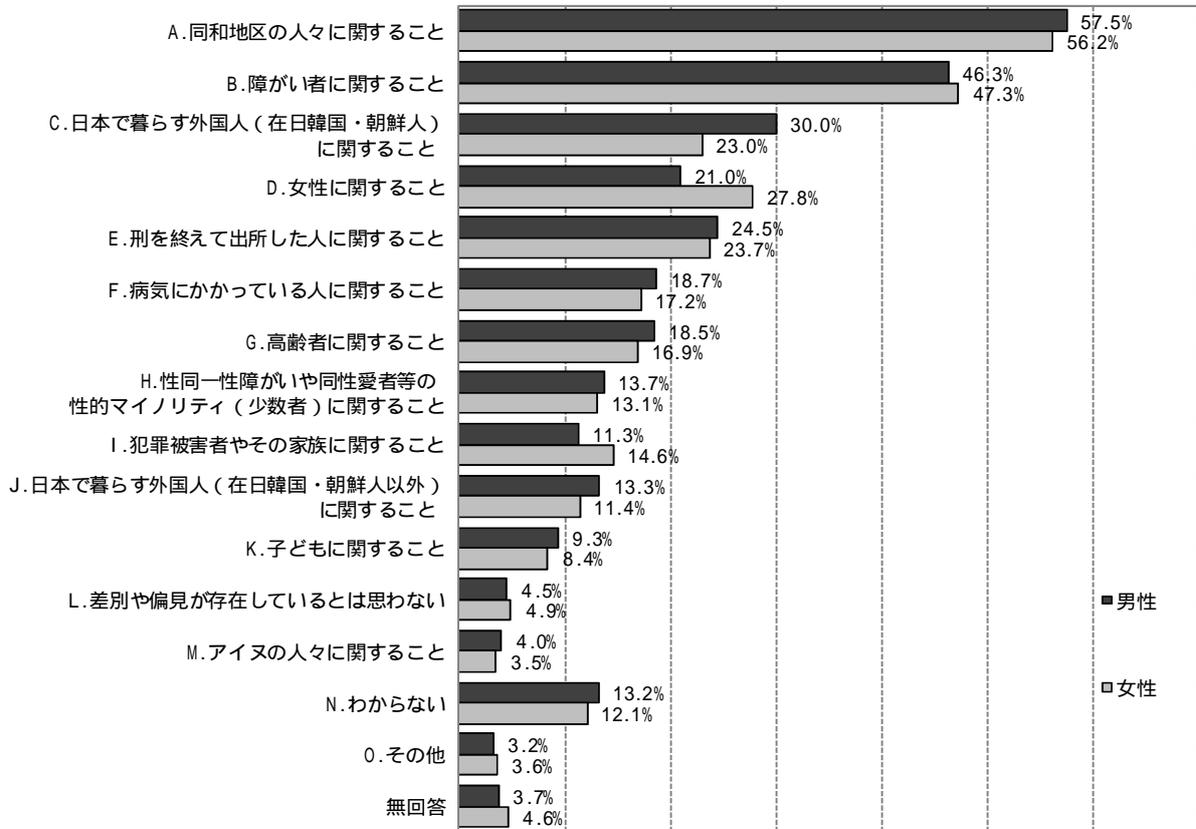
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問5 鳥取県内において「人々の意識」や「社会のしくみ」に差別や偏見が存在していると思うのは、次のどれですか。（はいくつでも） 「人々の意識」に関する回答



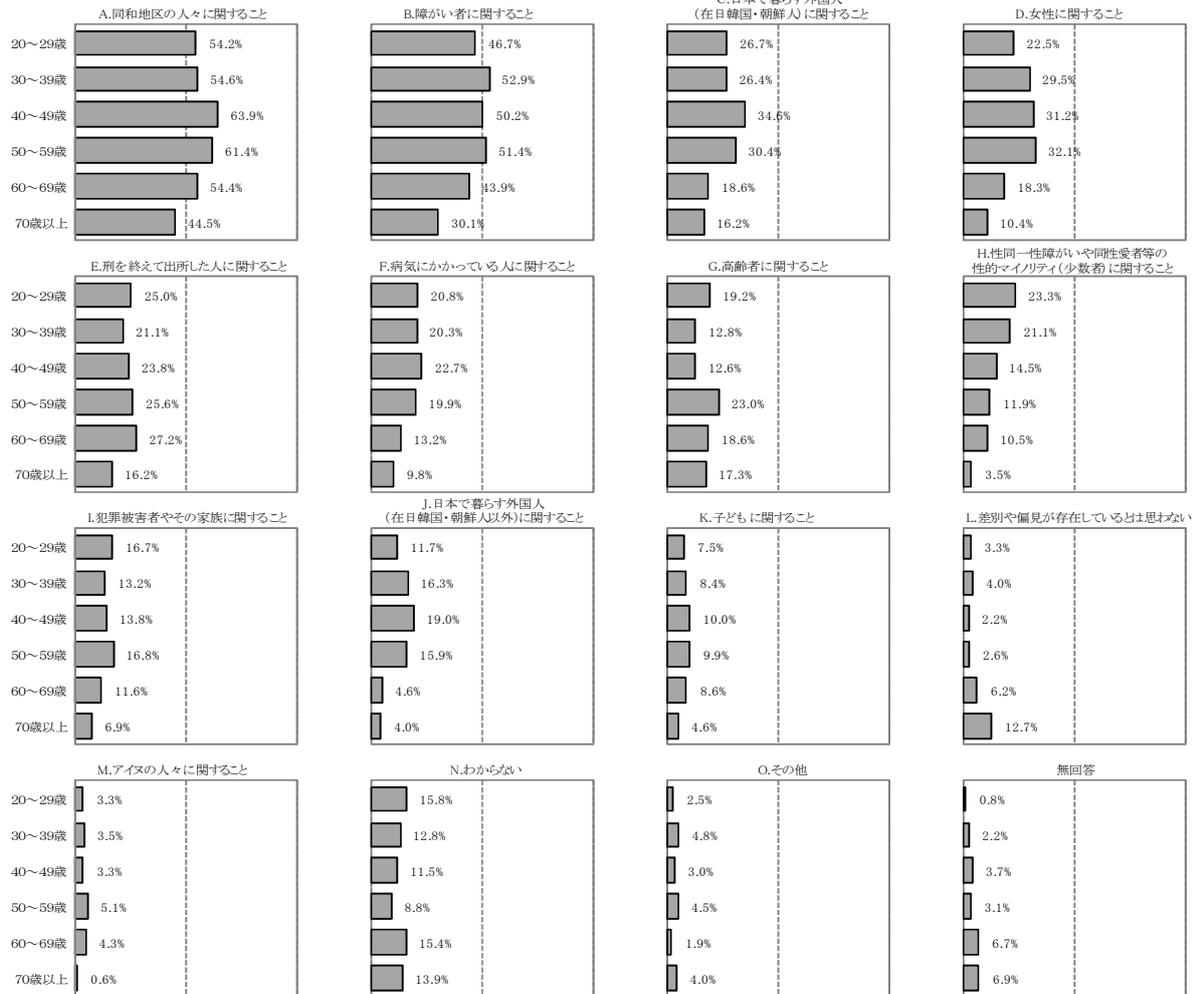
【性別・年齢との関係】

〔図 4-1〕 問 4 県内の人々の意識に存在していると思う差別 と 性別 の関係



性別でも「A. 同和地区の人々に関する事」(男性 57.5%、女性 56.2%) が最も高く、次いで「B. 障がい者に関する事」(男性 46.3%、女性 47.3%) となっている。

〔図 4-2〕 問 4 県内の人々の意識に存在していると思う差別 と 年齢 の関係

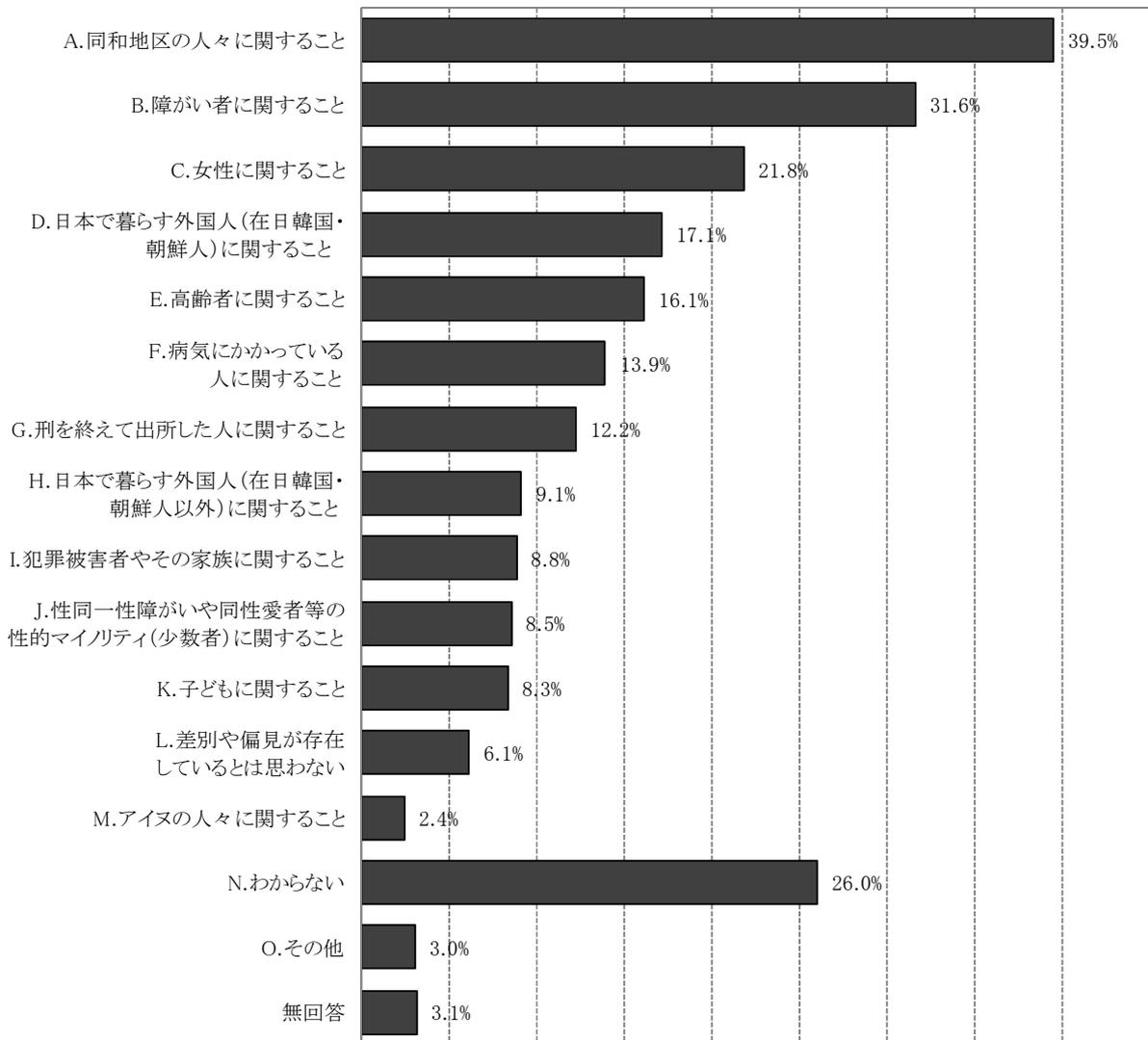


年齢別でみても〔図 4-2〕、各年代ともに「A. 同和地区の人々に関する事」が最も高く、次いで「B. 障がい者に関する事」となっている。

70歳以上では他の年代と比べ、「L. 差別や偏見が存在しているとは思わない」が高い。

問 5（県内の社会のしくみに存在していると思う差別）

鳥取県内において、慣習・制度など社会のしくみにより不合理な格差が存在していると思うのは、次のどれだと思いますか。（はいくつでも）

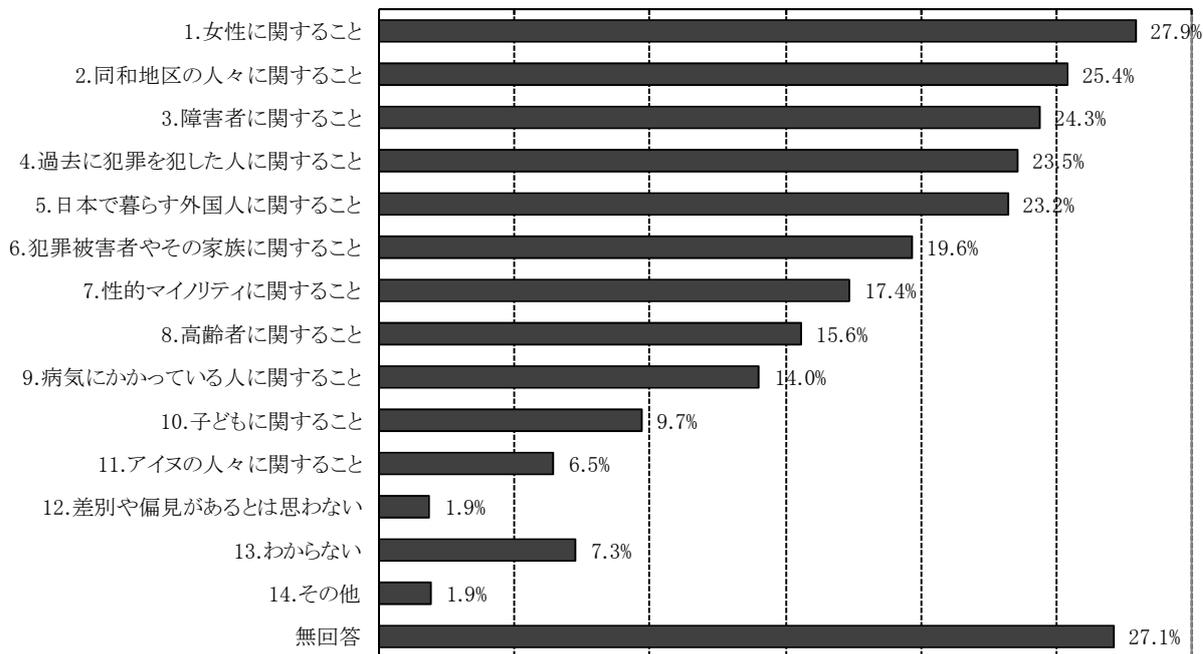


■鳥取県内における慣習・制度など社会のしくみにより不合理な格差が存在していると思うものについて、「A. 同和地区の人々に関する事」が39.5%、次いで「B. 障がい者に関する事」が31.6%となっている。また、「N. わからない」(26.0%)も高くなっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

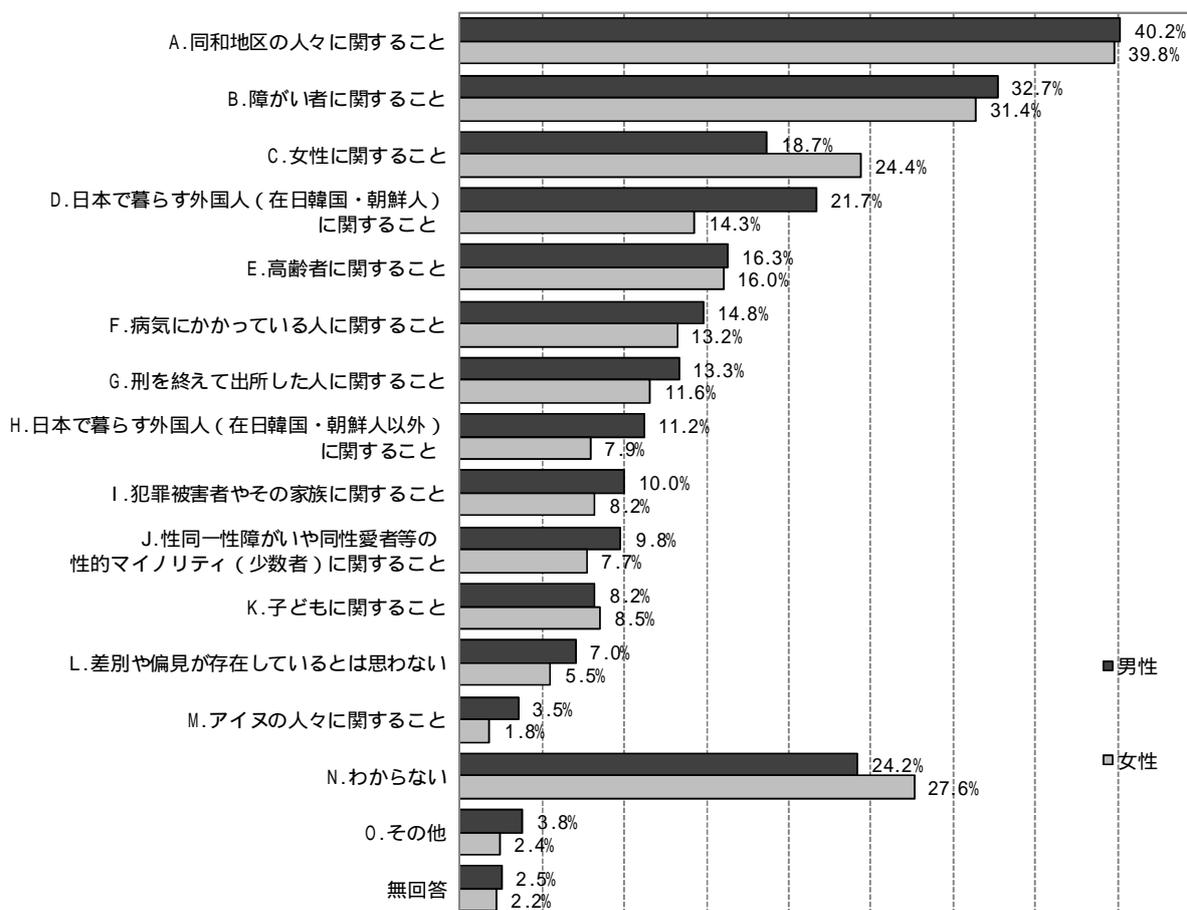
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問5 鳥取県内において「人々の意識」や「社会のしくみ」に差別や偏見が存在していると思うのは、次のどれですか。（はいくつでも） 「社会のしくみ」に関する回答



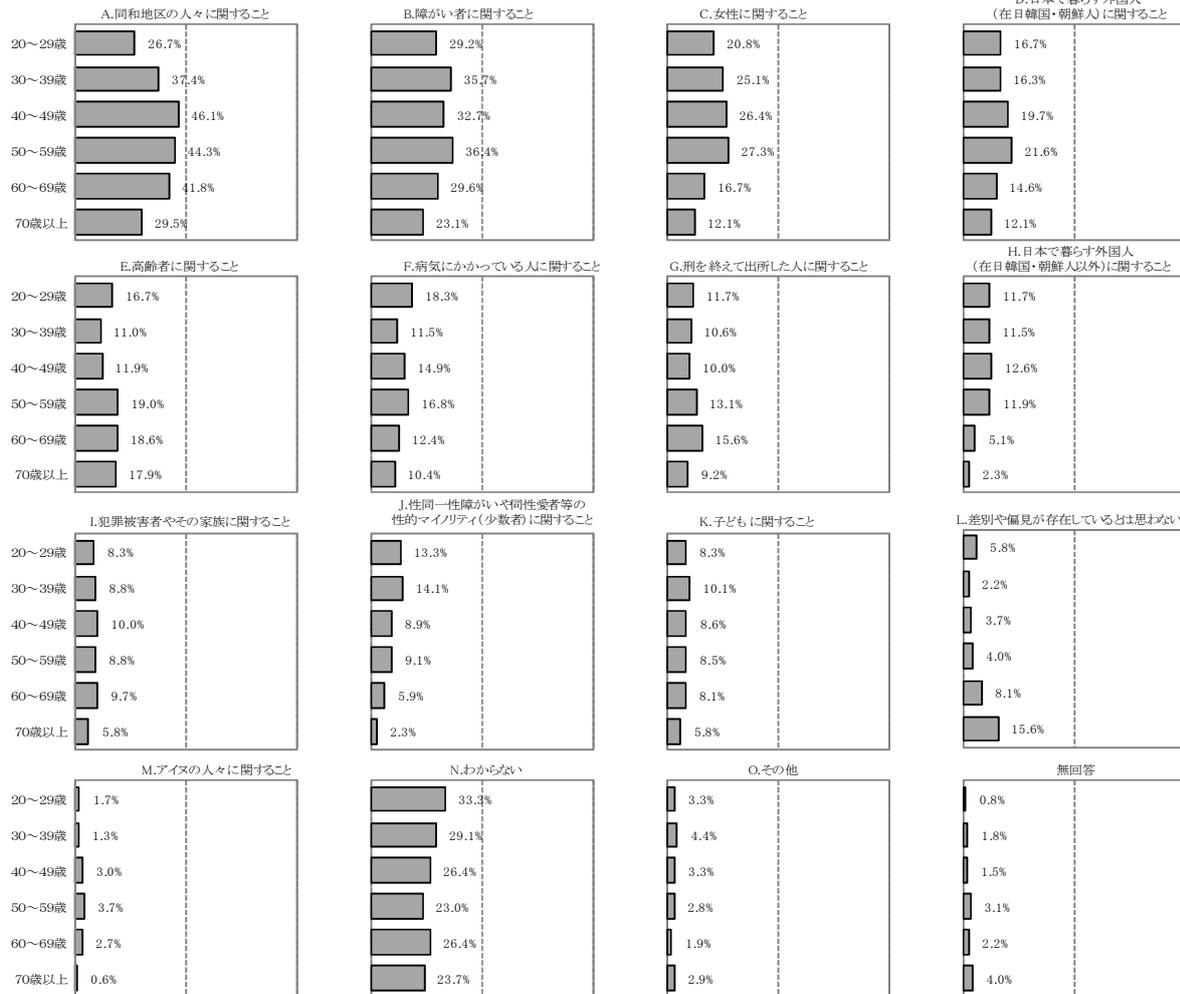
【性別・年齢との関係】

〔図 5-1〕 問 5 県内の社会のしくみに存在していると思う差別 と 性別 の関係



性別でもても〔図 5-1〕、男女ともに「A. 同和地区の人々に関する事」(男性 40.2%、女性 39.8%) が最も高く、次いで、「B. 障がい者に関する事」(男性 32.7%、女性 31.4%) となっている。また、「N. わからない」(男性 24.2%、女性 27.6%) も高くなっている。

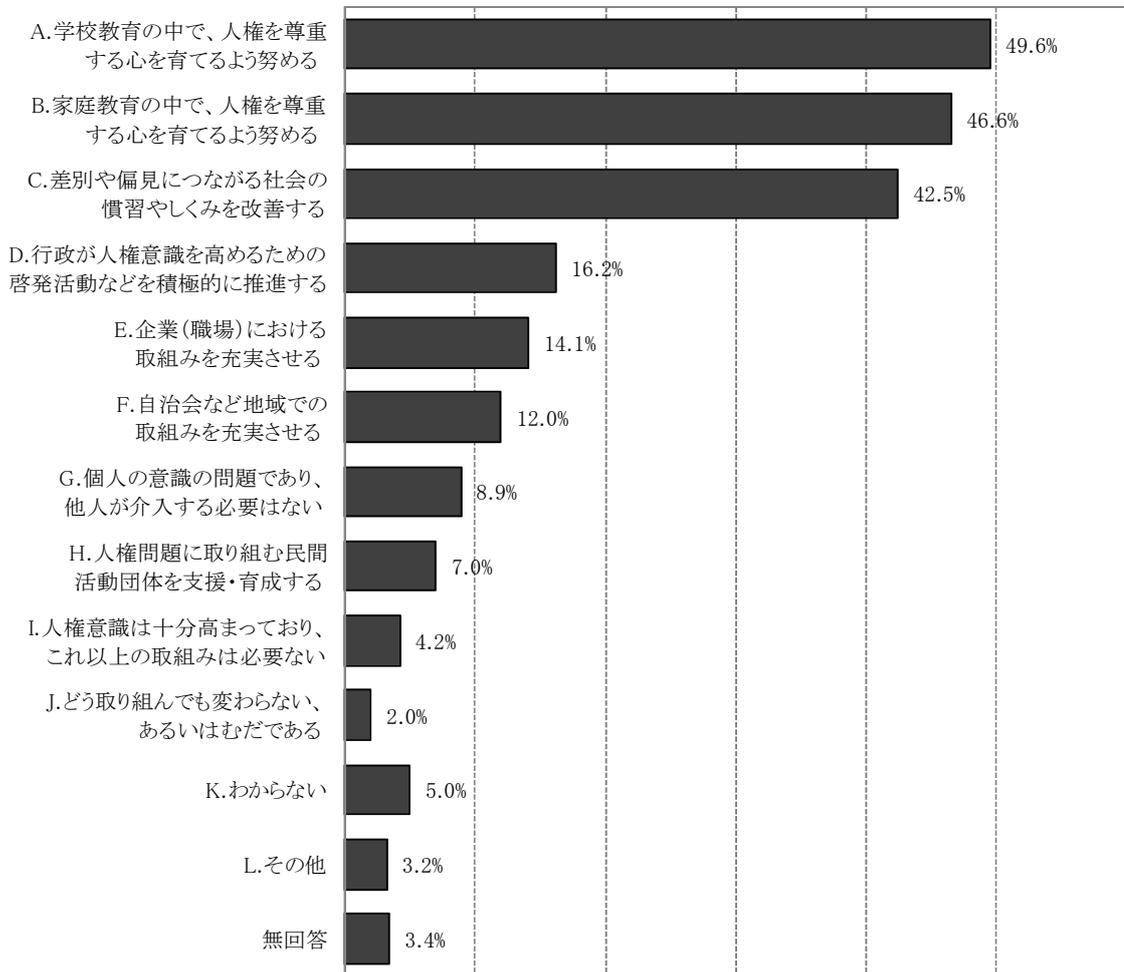
〔図 5-2〕 問 5 県内の社会のしくみに存在していると思う差別 と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 5-2〕、30 歳代以上では各年代ともに「A.同和地区の人々に関する事」が最も高く、また 30 歳代～60 歳代では「B.障がい者に関する事」が続いている。

問 6 (人権意識向上のために必要な取り組み)

人権問題についての理解を深め人権意識を高めるために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。(は3つ以内)

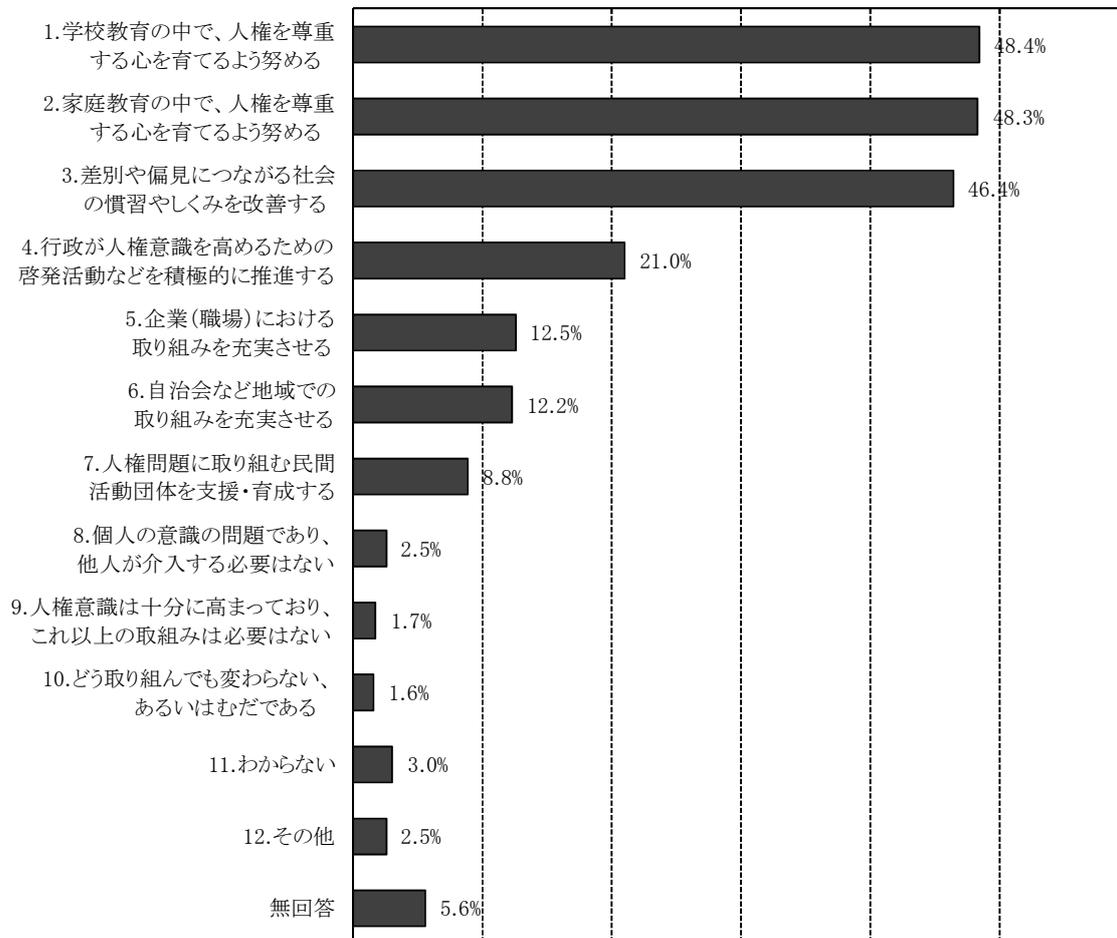


■人権問題についての理解を深め、人権意識を高めるために必要と思う取り組みは、「A. 学校教育の中で、人権を尊重する心を育てよう努める」が49.6%、次いで「B. 家庭教育の中で、人権を尊重する心を育てよう努める」が46.6%、「C. 差別や偏見につながる社会の慣習やしきみを改善する」が42.5%と高い割合を占める。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

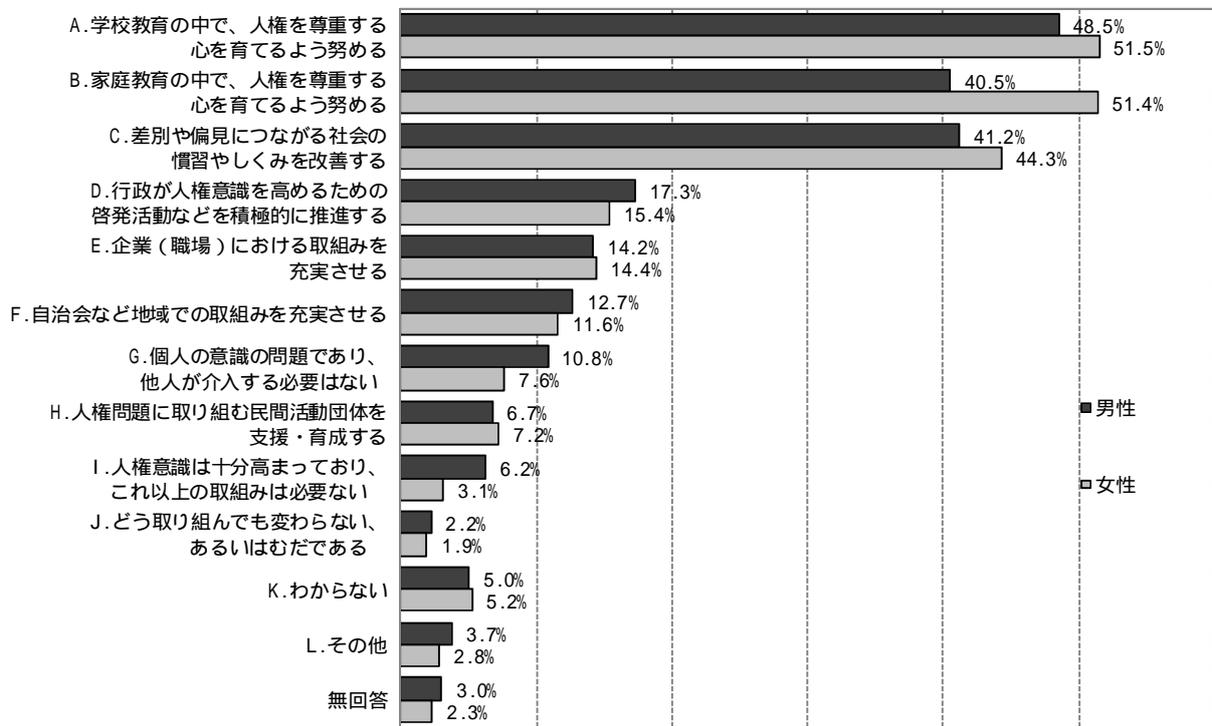
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問6 人権問題について理解を深め人権意識を高めるために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。次の中から特にあなたの考えに近いものをお答えください。（は3つ以内）



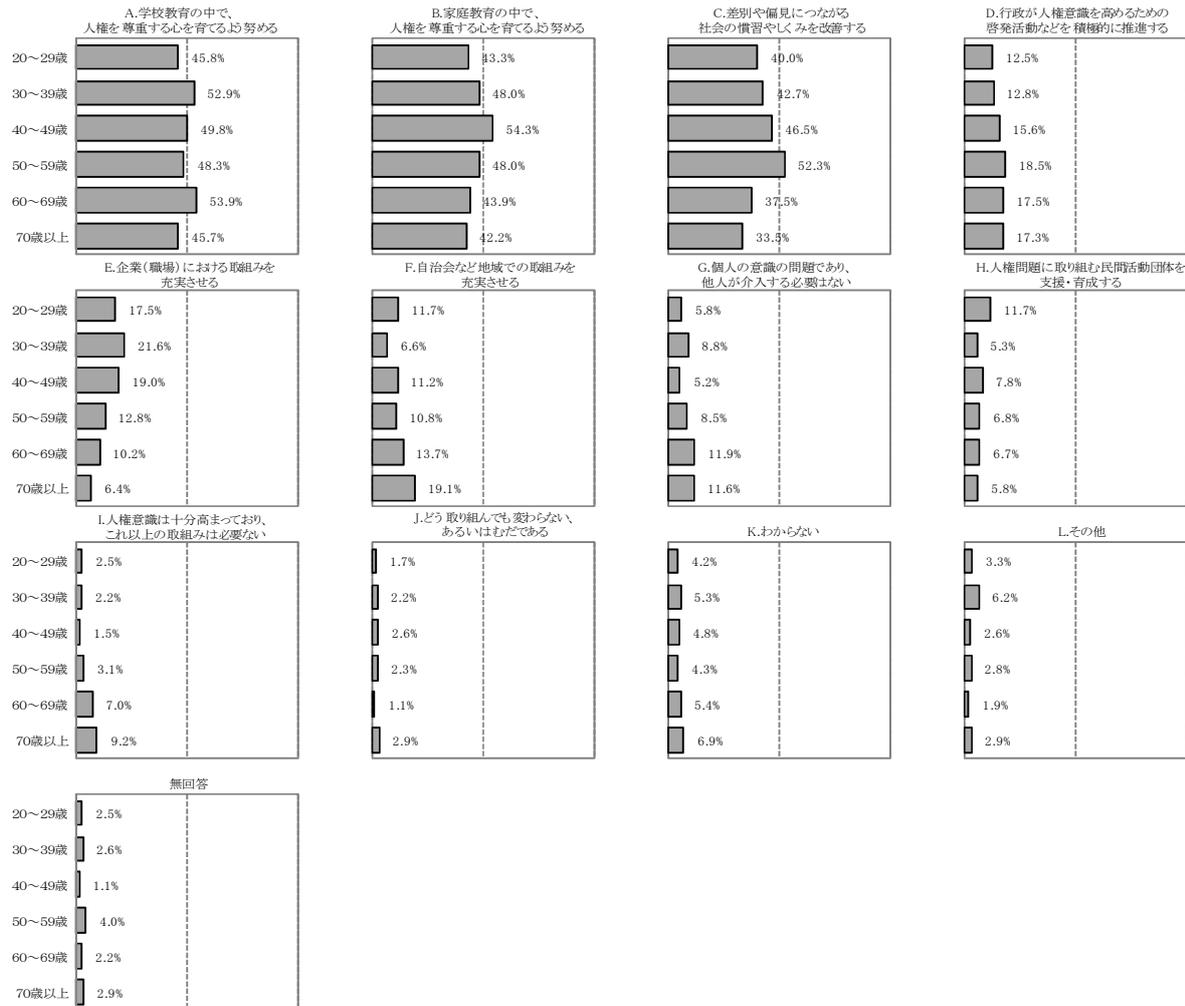
【性別・年齢との関係】

〔図 6-1〕 問 6 人権意識向上のために必要な取り組み と 性別 の関係



性別でみると〔図 6-1〕男女ともに、「A. 学校教育の中で、人権を尊重する心を育てよう努める」(男性 48.5%、女性 51.5%) が最も高くなっており、女性では僅差で「B. 家庭教育の中で、人権を尊重する心を育てよう努める」(男性 40.5%、女性 51.4%) と続いている。

〔図 6-2〕 問 6 人権意識向上のために必要な取り組み と 年齢 の関係



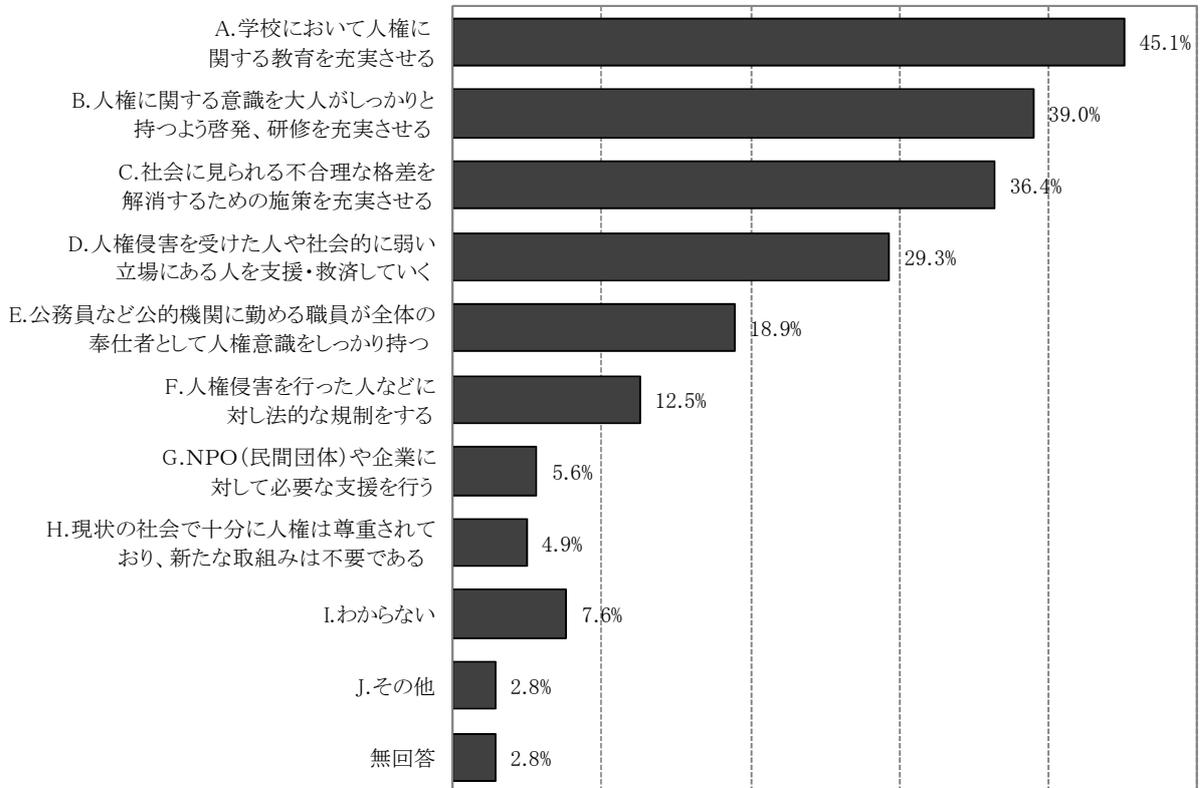
年齢別でみると〔図 6-2〕、「A. 学校教育の中で、人権を尊重する心を育てるよう努める」は各年齢層とも 45%以上が選択しており、特に 60 歳代（53.9%）、30 歳代（52.9%）が高くなっている。

また、「C. 差別や偏見につながる社会の慣習やしぐみを改善する」は、50 歳代（52.3%）までは年齢とともに増加しているが、60 歳代以上では 60 歳代（37.5%）、70 歳以上（33.5%）と大幅に減少している。

「B. 家庭環境の中で、人権を尊重する心を育てるよう努める」は、各年齢層の 40%以上が選択しており、40 歳代（54.3%）が最も高くなっている。

問7（人権尊重の社会づくりのために必要な行政施策）

人権が尊重される社会を実現するためには行政の施策としてどのような取組みが必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをお答えください。（ は3つ以内）

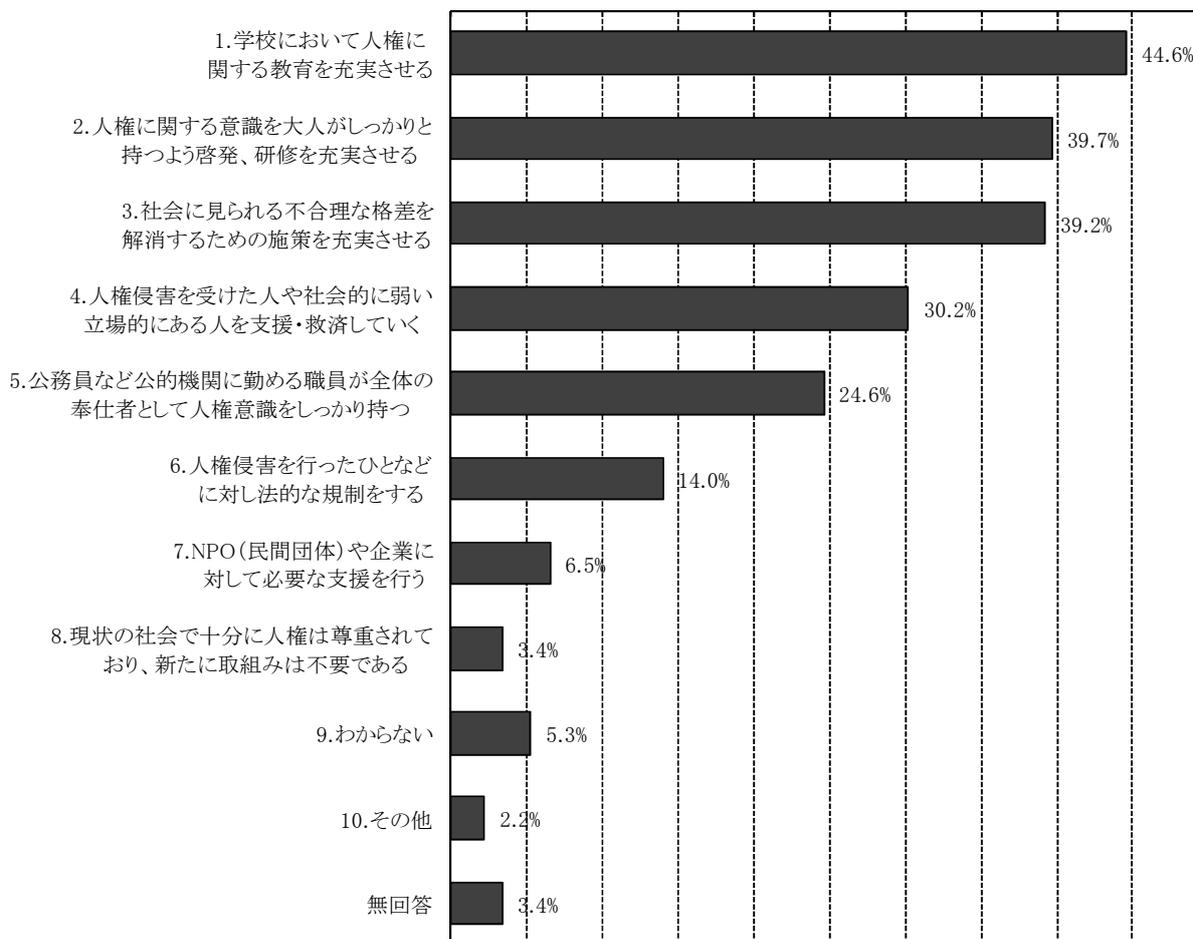


■人権が尊重される社会を実現するため必要と思う行政の施策は、「A. 学校において人権に関する教育を充実させる」が45.1%と最も高く、次いで「B. 人権に関する意識を大人がしっかりと持つよう啓発、研修を充実させる」が39.0%、「C. 社会に見られる不合理な格差を解消するための施策を充実させる」が36.4%となっている。また、「D. 人権侵害を受けた人や社会的に弱い立場にある人を支援・救済していく」も29.3%となっている。

【参考】 設問文、選択肢の文言の一部が前回に比べて異なっているため、参考としてご参照ください。

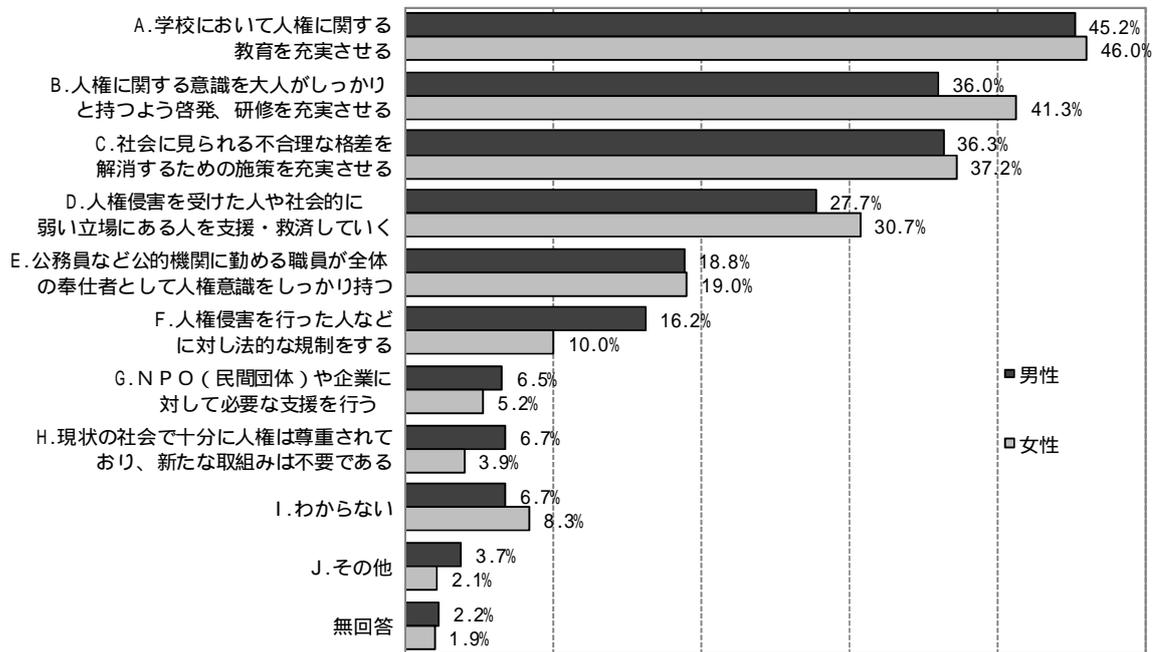
前回調査（H17 鳥取県人権意識調査）

問7 人権が尊重される社会を実現するためには行政の施策としてどのような取組みが必要だと思いますか。次の中から特にあなたの考えに近いものをお答えください。（ は3つ以内）



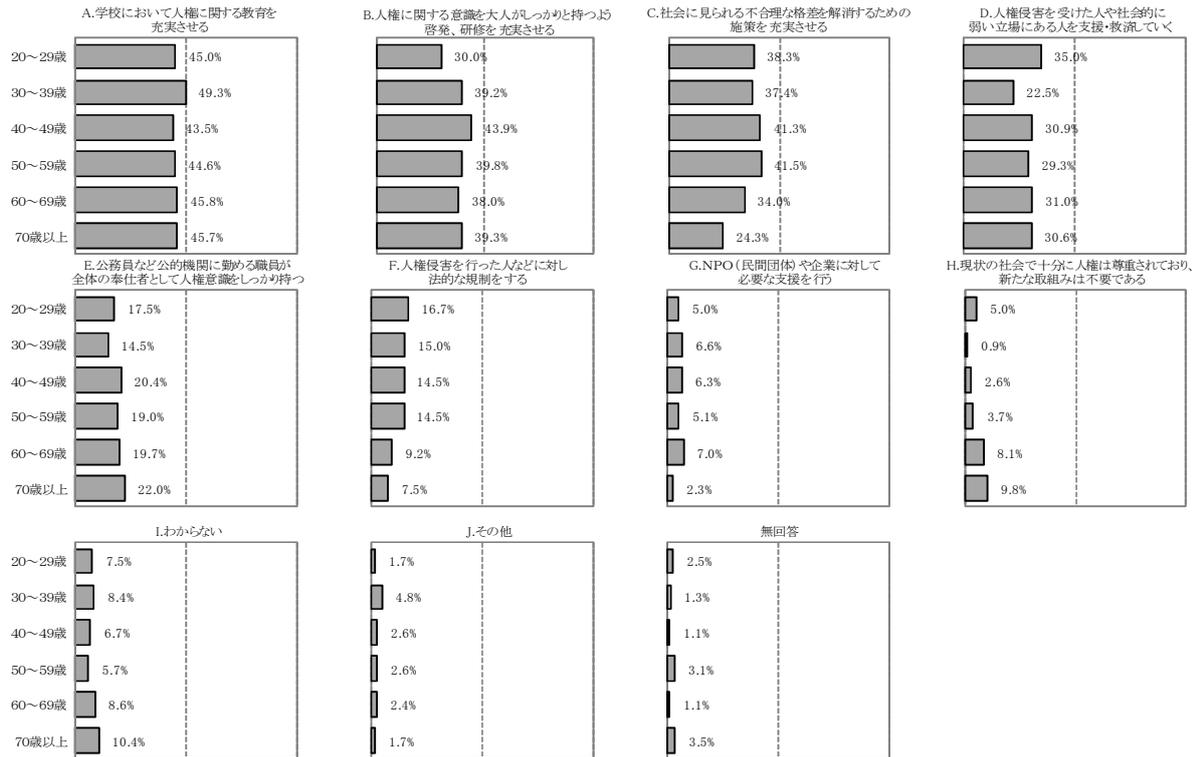
【性別・年齢との関係】

〔図 7-1〕 問 7 人権尊重の社会づくりのために必要な行政施策 と 性別 の関係



性別でも（図 7-1）、男女ともに「A. 学校において人権に関する教育を充実させる」（男性 45.2%、女性 46.0%）が最も高かった。また、「B. 人権に関する意識を大人がしっかりと持つよう啓発、研修を充実させる」（男性 36.0%、女性 41.3%）、「C. 社会に見られる不合理な格差を解消するための施策を充実させる」（男性 36.3%、女性 37.2%）がそれぞれ、女性では 2 位、3 位、男性では僅差で 3 位、2 位の順となっている。

〔図 7-2〕 問 7 人権尊重の社会づくりのために必要な行政施策 と 年齢 の関係



年齢別でみると〔図 7-2〕、「A. 学校において人権に関する教育を充実させる」は、20 歳代から 70 歳以上までの全ての年代で 4 割を超えて高くなっている。また、「B. 人権に関する意識を大人がしっかりと持つよう啓発、研修を充実させる」は、40 歳代（43.9%）が他の年代と比べて高くなっており、「C. 社会に見られる不合理な格差を解消するための施策を充実させる」は、40 歳代（41.3%）、50 歳代（41.5%）が高くなっている。